

令和元年度 鶴見・まちづくりゼミナール 実施レポート

● 第2講開催概要

開催日時：令和元年12月21日(土) 9:30～14:30

ルート：豊岡地区周辺

(鶴見駅西口～鶴見駅三ツ沢線～諏訪坂自治会館・公園～鶴見区地域子育て支援拠点わっくんひろば(昼食)～鶴見図書館)

テーマ：まちを歩き、まちを知る

コーディネーター：山路清貴氏(横浜市まちづくりコーディネーター)

出席者：受講生25名、区役所関係者8名 計33名

● 講座当日の様子

(1) フィールドワーク(豊岡地区まちあるき)

鶴見駅西口に集合し、諏訪坂自治会館に向かいました。

道中、成願寺や弁天池に立ち寄り、地理的・歴史的な成り立ちについて学びました。

まちあるきの途中で出てきた階段では、子連れで参加していた受講生のベビーカーを持ち上げるのを、受講生みんなで手伝う場面もありました!



集合



成願寺



弁天池

(2) 諏訪坂自治会の取組紹介(講師：諏訪坂自治会長 池田昇氏)

諏訪坂自治会の取組について、池田会長よりお話をいただきました。

自治会で開催している子どもと参加できるイベントや、広報誌として発行している「諏訪坂ニュース」、現役世代との関係づくりで工夫している点など盛り沢山の内容でした。

受講生は、池田会長のお話に熱心に耳を傾けていました。



自治会の掲示板



池田会長による取組紹介



(3) 鶴見区地域子育て支援拠点わっくんひろば、鶴見図書館

鶴見区地域子育て支援拠点のわっくんひろばでは、受講生は昼食をとりつつ、施設長からわっくんひろばの概要と取組について伺いました。

その後、鶴見図書館に向かい、山路先生から図書館前の彫刻についての説明を受けました（「鶴見まちかど発見塾」が設置位置を検討したのだそうです）。

鶴見図書館では、職員から図書館の利用の仕方を伺った後、その日のまちあるきの感想と振り返りについて、共有しました。



鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろば

鶴見図書館前の彫刻

● 受講生の感想（一部抜粋）

あまりに鶴見の事を知らずに生きてきました。去年も感じましたが、今回はまたこんなところに有名な建物が！史跡が！彫刻が！と驚きの連続でした。

歴史に興味が無かったので、これまでは歴史に触れるチャンスをつくらなかったが、実際に自分の足で歩いて話を聞くとたちまち魅了された。地元を知って面白い。

鶴見区地域子育て支援拠点わっくんひろばは初めて訪問したが、充実したサービスを提供されていると感じた。一方で、高齢者や認知症の人などへのサービスがどのようなになっているか興味が募った。

諏訪坂自治会の取組はとても素晴らしいと思いました。特に「諏訪坂ニュース」に感心しました。会館の隣に公園があるのは羨ましかったです。

諏訪坂自治会の方もわっくんひろばの方も自分の時間を割いて、みなさんの為に働いていらっしゃる事が素晴らしいなと思いました。

私も少しずつ役に立つ活動をしていきたいと思っています。

● 編集後記（編集者：坂田（鶴見区地域力推進担当係長））

普段何気なく歩き、暮らしているまちも、実はいろいろな変遷を経ていて、そのうえに人々の暮らしが成り立っていることがわかりました。そんな変遷を今に伝える「宝」が、どんなまちにもありそうです。それぞれのまちで頑張っている自治会町内会をはじめとする方々も、まちの「宝」と言えるかも知れません。まちの「宝」を再発見して、みんなでまちを元気にしたいものです。